



JB 本四高速グループビジョン 2035・中期経営計画 2025-2027 の策定について “つなぐ力”で広く社会に貢献する企業グループを目指します ～「2035年にありたい姿」の実現に向け、更なる機能向上・成果拡大を本格化～

JB 本四高速グループでは、このたび、10年後のありたい姿を示す「JB 本四高速グループビジョン 2035」、そして、2035年のビジョンを実現するための3ヶ年のストーリーとして「中期経営計画 2025-2027」を策定しました。

次世代につなぐ価値

私たち JB 本四高速グループは、これまで本州と四国をつなぐ重要な役割を果たしてきた本四高速道路の安全・安心・快適な利用を支えるため、さまざまなサービスの提供に取り組んできました。加えて、自然災害の激甚化・頻発化、高速道路に対する新たなニーズの高まり、少子高齢化、気候変動など、急速かつ不確実な社会環境の変化に対応しています。

2008年には「瀬戸内企業ビジョン」を策定し、JB 本四高速グループの使命と目指す方向性を示しました。このビジョンを基に、今回、10年後のありたい姿を示す「JB 本四高速グループビジョン 2035」を策定しました。

2035年に向けて、私たちは「つなぐ力」をもって広く社会に貢献する企業グループを目指し、貴重なインフラを次世代へとつなげていく覚悟を新たにしました。JB 本四高速グループ一丸となり、未来を見据え、夢を実現する、決して諦めない「本四 DNA」を大切に、今後も社会貢献に尽力してまいります。

2035年にありたい姿

JB 本四高速グループは、“つなぐ力”で広く社会に貢献する企業グループを目指します

私たちは、本州と四国をつなぐインフラの効率的な管理を通じてサステナビリティ経営を推進し、国民経済の発展と生活の質の向上に貢献するとともに、瀬戸内地域や国内外の社会課題の解決を目指して広く社会に貢献することを使命としています。

前身である本州四国連絡橋公団設立以来、瀬戸内地域を拠点に、本四高速道路の長大橋群をはじめとする世界に類を見ないインフラ建設を実現し、安全・安心・快適なサービスの提供、地域活性化、多様なパートナーとの連携、また国内外の長大橋保全などの課題解決に取り組んできました。

今後も、本四高速道路の安全性の確保を最優先とし、「200年橋梁」への挑戦と地域連携の取組を積み重ね、社会の持続的な発展を支える想いを大切に、インフラを通じて地域と社会に貢献する私たちの使命を果たす企業グループとして成長し続けます。



本州と四国をつなぐ



本四高速道路を未来につなぐ



瀬戸内地域をつなぐ



長大橋技術で世界をつなぐ

中期経営計画2025-2027

行動計画 2022-2024 の総括を踏まえ、今回策定した中期経営計画 2025-2027 において、「2035 年にありたい姿」の実現に向け、更なる機能向上・成果拡大を目指してまいります。

「2035年にありたい姿」に向けて

“つなぐ力”で広く社会に貢献する
企業グループへ

JB本四高速グループ ビジョン2035

「次世代への4つの挑戦」を掲げ、
高速道路事業の高度化・効率化を進化

行動計画 2022-2024

年間利用台数	45.5百万台	(2024年度見込)
本州四国間の交流人口	5,865万人	(2023年度実績)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	81%	(2024年度見込)
渋滞損失時間	6万台・時	(2023年度実績)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	40%	(2023年度見込)

次世代への挑戦

- ・DX推進による高速道路事業の高度化・効率化
- ・200年橋梁を目指した長大橋維持管理技術の高度化
- ・瀬戸内地域と連携した利用促進や地域貢献
- ・意識改革と業務遂行によるグループの基盤づくり

「2035年にありたい姿」の実現に向け、
更なる機能向上・成果拡大を本格化

中期経営計画 2025-2027

年間利用台数	46.5百万台	(2027年度目標)
本州四国間の交流人口	6,675万人	(2027年度目標)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	86%	(2027年度目標)
渋滞損失時間	3万台・時	(2027年度目標)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	50%	(2027年度目標)

3カ年の重点施策

- ・強靱化による災害対応力の強化
- ・インフラの長寿命化と管理の効率化
- ・地域連携事業、橋梁技術支援事業の拡大
- ・CO₂排出量を2013年比で半減
- ・人的資本経営の推進

年間利用台数	47.0百万台	(2035年度目標)
本州四国間の交流人口	6,742万人	(2035年度目標)
暫定的な整備手法による 橋梁耐震補強完了率	100%	(2035年度目標)
渋滞損失時間	1万台・時	(2035年度目標)
CO ₂ 排出量削減(2013年比)	65%	(2035年度目標)

2035年への道のり

- ・本四間移動の安全・安心・快適の追求
- ・瀬戸内地域の発展と橋梁技術の課題解決に貢献
- ・サステナビリティ経営を深化
- ・魅力と誇りに満ちたJB本四高速グループへ成長

当社グループが一丸となって、目標達成に取り組み、より多くのお客様に安全、安心、快適にご利用いただけるよう、サービスの充実に努めてまいります。

JB 本四高速グループビジョン 2035・中期経営計画 2025-2027 の詳細は、当社ホームページをご確認ください。

JB 本四高速ホームページ(ビジョン 2035・中期経営計画) :

https://www.jb-honshi.co.jp/corp_index/company/plan/